



No.88

市政の窓

「熱意と努力」

『地震列島』日本各地で大きな地震が頻りに発生しています。特に大阪の被害からの復旧と千葉県東方沖の「スロースリップ」(ゆっくりすべり)を心配する中、市議会6月定例会では、私の選挙後の政策柱に係る子ども医療費助成の拡大、小中学校トイレの洋式化、パークゴルフ場の整備や新農業委員任命案件が可決承認されました。その翌日、サッカーワールドカップロシア大会の予選リーグ、コロンビア戦。日本の勝利の余韻に浸る中、今月号の本コーナーの原稿に向かっております。試合開始早々、相手選手のレッドカード一発退場により先制点を挙

げ、その後も攻撃の手を緩めることなく強豪チームに攻め勝ったことは、実に半端ない素晴らしいゲームでした。選手の一人を欠きながら接戦に持ち込んだコロンビア代表の戦いぶりにも称賛を送るものであります。残り2試合の予選リーグを勝ち抜き、7月からの決勝トーナメント進出に向けチーム一丸の頑張りに期待いたします。

7月といえば、全国高等学校野球選手権大会予選が各都道府県で始まります。今年は100回記念大会であり、千葉県の出場枠が2校となることもあって、選手たちの意気込みや応援にも力が入ることでしょう。ましてや近年、匝瑳リトルシニア出身の選手も各校で活躍しております。参加各校の奮闘を祈念し、

匝瑳市長 太田安規

安久山を歩く ゆるぎ松

匝瑳探訪 146

安久山区(飯高地区)の圓静寺は、境内の20基余りの板碑から、1330年代になりこの地域に日蓮宗が進出したことを伝える寺院です。

同寺には市の文化財に指定されている1419(応永26)年の板曼荼羅や板碑のほかにも地域の歴史を伝えるものがあります。

その一つが「ゆるぎ松」の伝説です。かつて

門前には「ゆるぎ松」と呼ばれた松の古木があり、ある時村人が集まり根元を切り始めると、不思議なことに真っ赤な血が噴き出したと伝わります。驚いた村人たちは、塔婆を立て村中の安全無事を祈ったということです。

寺の記録によると、1738(元文3)年4月のある日、朝6時から昼ごろまで赤色の水が流れ

出し村人を慌てさせた、とありますが、おそらく大雨による土砂が流れ出したのでしよう。そして松を植えて、村の安穩を祈ったことで、「ゆるぎ松」の伝説が生まれたのかも知れません。



安久山の句碑

江戸時代も

後期になると、この地方でも農民の間に俳諧が広まっていったようです。安久山村の木下兼治は、全国の俳諧師から「松の発句」などを集めて「揺松集」をまとめました。この句集には村周辺の市域20か村、80余人の俳人が句を寄せています。

2代目とも3代目とも言われた「ゆるぎ松」は、1975(昭和50)年に枯れてしまいました。その根元にあったとされる松尾芭蕉の句碑が現在も残されています。松尾芭蕉の年忌などに地方の俳人たちにより造立された句碑は、市域に10基余りあるとされています。

安久山の句碑は、縦横約75cmの平石に、「此道に出でずさよ松の月」と刻まれています。「揺松集」の出された1800年ごろに、木下氏らにより造立されたものでしよう。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問秘書課広報広聴班

☎73・0080

文芸コーナー

短歌

小泉泰清 推薦

亡骸の母のぬくもり偲ぶ夜は
母と添い寝の夢見て目覚む
言の葉は一字増すごと短歌変る
書き足し削り又も書き込む
日に焼けて農に生きたる私の腕
皺をなでつつ「御苦労様」と
肉じゃがは煮るたび味が僅かずつ
何故か違えり亡母の味には
青田風誘われ出ずる目の先に
田草取るがに白鷺群れる
菜園に緑広まり初生りの
そら豆添えて夕餉賑わす
火を吐いたゴジラの如き槓の木に
隠れ家とせん雀らが居る

木下 昌子
伊藤登美枝
大木ヨシ子
木島 仁美
依知川雅一
川手 芳
小川 一夫

川口城司 推薦

下闇や牛飼の歌碑声にして
牛飼と呼ばれし左千夫草茂る
牛飼の左千夫生家の柿若葉
神域の茅の輪くくりぬ夏木立
牛飼の土間吹抜けて青田風
研ぎし鎌切れ味シャリと走り梅雨
廃線の終点涼しいかだんご
朝戸開六月の風さそひけり

大川 宣子
安藤 建子
椿 和枝
高安せい子
最上 峻
岩井 やす
吉井 八流
椎名 晴江

花の市店先飾るつつじかな
初夏の子豚三匹諍へる
男爵の大玉掘るや梅雨入前

野仲 妙子
石田 健
伊藤 定子

そう麺の薬味に添えたおもてなし
地引き網思い出多い九十九里
救急車休む暇なし夏休み
夏休み孫の成長待つ身分
夏休み旅の思い出一つ増え
孫たちの猫なで声に諭吉消え
超長寿一人残った孤立した

江波戸京子
林 サダ子
佐久間美智子
常世田やす子
鈴木 春子
松野 敏昭
八角 宗林

俳句

八木佐久司 推薦

川口城司 推薦

七夕の願い事にも出る迷い

及川 利道

力作募集中

あて先…匝瑳市秘書課広報広聴班 〒289-1219 匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



●休館日…5日(木)・17日(火)、毎週月曜日

☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

夏のイベント

八日市場図書館では、7・8月に「野菜づくりDVD上映会」「図書館たんけん」などのイベントを計画しています。詳細は、図書館ホームページまたは館内ポスター・チラシをご参照ください。なお、募集が始まっているイベントもありますので、ご注意ください。

課題図書あります

第64回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書は、八日市場図書館・のさか図書館それぞれで、各1

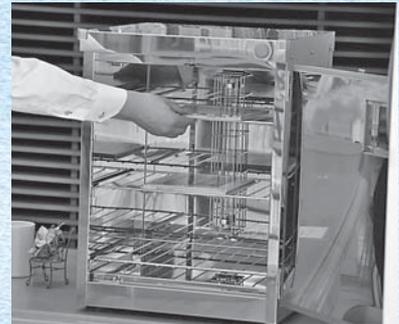
冊ずつ所蔵しています。子ども1人に付き1冊、期間は1週間です。予約の受け付けは窓口と電話で、取り置きは2日間です(子ども名義の図書館カードでのみ貸し出し・予約受け付け)。まだお持ちでないお子さんは、カードを作りませんか。その際、健康保険被保険者証などの身分証明書が必要になります。

7月のおはなし会

八日市場図書館
毎週土曜日 14時から約30分間
のさか図書館
第4土曜日 10時30分から約30分間

除菌ボックスを導入

八日市場図書館に書籍を消毒する除菌ボックスを導入しました。紫外線の効果で、貸し出し図書の表面を除菌するもので、より一層清潔にご利用いただけます。



除菌ボックス(書籍消毒器)